

高剛性発泡充填材 ペンギンフォームハンドアプリケーションシステム作業手順

発泡充填材 ペンギンフォームハンドアプリケーションシステムは、閉断面構造体の補強を容易にすることを目的に開発した2液高剛性ウレタンフォームの簡易充填システムです。本材料を自動車等の閉断面構造体中に充填することで、重量を大幅に増加させることなく車体剛性及び操縦安定性が向上し、静粛性や乗り心地間も1ランクアップします。



1. 準備物

- カートリッジ (ペンギンフォーム³³⁶⁰P : 50ml)
- ミキサー
- 専用ハンドガン
- 保護具(ポリ手袋、保護めがね等)

2. 充填

2 - 1	<p>充填準備</p> <p>カートリッジを20～30℃に放置し、材料温度が20～30℃となるようにする。 △カートリッジをドライヤーやストーブで温めると中身が飛び出す恐れがありますので行わないで下さい。また、温水中に浸漬して温めると異常発泡する恐れがあるので行わないで下さい。</p>								
2 - 2	<p>充填量の決定</p> <p>予定の充填量をあらかじめ設定する(ストロークで設定する)。 * 充填ライン：下表を目安に充填容量を設定します。</p> <p style="text-align: center;">【1ストローク当たりの充填容量の目安】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">3360P - 3</td> <td style="text-align: center;">3360P - 5</td> <td style="text-align: center;">3360P - 10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">充填容量(/ストローク)</td> <td style="text-align: center;">約1.5ml</td> <td style="text-align: center;">約2.5ml</td> <td style="text-align: center;">約5.5ml</td> </tr> </table>		3360P - 3	3360P - 5	3360P - 10	充填容量(/ストローク)	約1.5ml	約2.5ml	約5.5ml
	3360P - 3	3360P - 5	3360P - 10						
充填容量(/ストローク)	約1.5ml	約2.5ml	約5.5ml						
2 - 3	<p>ハンドガンの準備</p> <p>ガン本体のレバーを持ち上げながら、プランジャーを奥まで差し込む(プランジャーのギザギザ面を下にして差し込む)。</p>								



2 - 4	<p>カートリッジの準備</p> <p>カートリッジのナット(白色)を外す(材料が流出するので、カートリッジは立てておく)、 カートリッジの先端にミキサーを装着する。 △材料に直接触れないように注意して下さい。</p>	
2 - 5	<p>ガンへの装着</p> <p>本体のストッパーを上げ、カートリッジをセットし、「カチッ」と音がするまで押し下げる。</p>	
2 - 6	<p>充填</p> <p>材料を2ストローク捨て打ちした後、速やかにミキサーの先端を充填穴に差し込み、充填を行う。 △材料温度が低い場合や吐出速度が遅い場合はうまく発泡しない場合がありますので注意して下さい。 △5秒以上吐出を止めると材料がミキサー内で硬化し、再度吐出出来なくなることがあるので、連続して充填して下さい。 △充填が終了してもミキサー内の材料が発泡し、ミキサー先端から出て人体や周辺に付着する恐れがあるため注意して下さい。 △硬化時は反応熱により発熱するので、やけどに注意して下さい。</p>	

3. 注意事項

硬化前の材料は人体に有害なので、飛び散り等に備えポリ手袋や保護めがね等の保護具を必ず着用して下さい。

万一目に入った場合は直ちに流水で15分以上洗ってから、すぐに医師の診察を受けて下さい。

万一飲み込んだ場合はすぐに医師の診察を受けて下さい。

皮膚についた場合は、石鹼等で十分洗浄してください。かゆみや炎症等の症状がある場合は、速やかに医師の診断を受けて下さい。

使用に関しては、換気を良くして下さい。

人体に向けて使用しないで下さい。

本来の目的以外に使用しないで下さい。